

第2分科会

大学におけるロボットやICTの活用事例

コーディネーター：小田 真隆 氏（京都薬科大学 生命薬科学系 教授）

登壇者：坂本 尚志 氏（京都薬科大学 一般教育分野 准教授）

須田 宇宙 氏（千葉工業大学 情報科学部 准教授）

瀧本 真人 氏（龍谷大学 国際学部 教授）

分科会概要：

ロボットやICT（Information and Communication Technology（情報通信技術））の普及により、我々の生活は大きく変化し、大学教育においてもその活用が進められている。教育の質向上、業務の効率化を目指し、ロボットやICTを利用する大学が増加しており、2018年現在、国内の国公立大学における約60%がLSM（学習管理システム）を導入しているが、米国、英国、韓国と比較すると十分に活用できていない状況である。本分科会では、ロボットやLSMを活用されておられる先生方を招き、活用事例、メリットおよびデメリット、利用における注意点などを紹介していただく。今後の教育改善におけるロボットやICTのさらなる活用方法について議論したい。

【発表タイトル】

- ① 坂本尚志 「LMSは授業をどう変えるのか？—大講義における事例を中心に」
- ② 須田宇宙 「ICTによる教育支援の一例」
- ③ 瀧本真人 「LMSの活用例と学生の反応（案）」

【タイムスケジュール】

10:00～10:10：分科会の概要説明（小田真隆）

10:10～11:00：坂本尚志

11:05～11:55：須田宇宙

12:00～13:30：昼休憩

13:30～14:20：瀧本真人

14:30～15:30：質疑応答&意見交換会